

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。なお、ご協力いただかない場合でも患者様に不利益は一切ございません。

研究課題名 (倫理審査委員会承認番号)	滝川管内におけるパラ百日咳菌感染症流行について (No. 23-07 号)
当院の研究責任者 (所属)	松本日出男 (小児科)
実務分担者	平木雅久、黒澤洋一、大塚菜緒 (国立感染症研究所主任研究官)、 津川毅 (札幌医科大学小児科学講座教授)
本研究の目的	百日咳菌およびパラ百日咳菌に対するモノプレックスPCRが陽性となった場合、診断に大きく寄与するものの、発症後3週間を経過するとPCRで陽性となるのは困難であることが知られている。PCRと同時に提出した、両菌が産生する毒素に対する抗体 (PT-IgG、FHA-IgG) の偏りがそれぞれに特徴的な動きを示すことを証明し、百日咳の診断に役立つことを示す。 本研究により、パラ百日咳が疑われる患者で、PCR検査で陽性が得られなかった症例に対し、抗体価測定がある程度有用である可能性を示すことができる。また、パラ百日咳菌による百日咳の局地的流行があることが示される。
研究対象者	当院で2023年10月から2024年1月の流行期間にパラ百日咳を疑った43名
研究方法	上記対象者について、属性や臨床症状ならびに検査結果などを電子カルテから抽出して解析を行う。それをもとに医学論文への投稿を行う (海外雑誌を予定)。
個人情報の取り扱い	氏名や住所などの患者さま個人を直接特定できる個人情報は利用しません。
お問い合わせ先	電話：(0125) 22-4311、 研究責任者：小児科 松本日出男